

# 小学校 1年

## おかねの 出しかたを かんがえよう

柏原市立堅上小学校

教科

算数

単元名

大きい かず

### 本時のねらい

・いろいろなお金の出し方を考えることができる。

### 本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

お金の出し方の組み合わせを試行錯誤しながら複数考えさせる。その際、タブレット PC を活用し、それぞれの考えを全体で共有したり比較したりする。

### 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・スクリーン      ・Sky Menu Class の発表ノート

### 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お金（硬貨）の種類を確認する。 1円・5円・10円・50円・100円</li> <li>○買い物場面のイラストを見て、本時のめあてを確認する。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">おかねの 出しかたを かんがえよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーン上でお金のイラストを提示し、それぞれの硬貨が何円なのかを全員で確かめる。</li> </ul>
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○28円のガムを買う時、おつりが出ないお金の出し方を複数通り考える。</li> <li>○28円のお金の出し方を発表し、それぞれの出し方をグループ分けする。</li> <li>・10円・5円・1円を使う（10円2枚+5円1枚+1円3枚、10円1枚+5円1枚+1円13枚 など）</li> <li>・10円・1円を使う（10円2枚+1円8枚、10円1枚+1円18枚）</li> <li>・5円と1円を使う（5円5枚+1円3枚 など）</li> <li>・1円を使う（1円28枚）</li> <li>○どのお金の出し方が出しやすいか、理由とともに発表する。</li> <li>・硬貨の数が少ない方が、数えやすい。</li> </ul> <p>○「あめ36円」「グミ52円」の場合を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー＆ペースト機能を使い、いろいろな硬貨のイラストを組み合わせさせて考えさせる。</li> <li>・タブレット上の児童の考えをスクリーンに投影し、全体で共有する。</li> <li>・スクリーンにいろいろなお金の出し方を投影し、比較する。</li> </ul>
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の学習をふりかえる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習の流れをスクリーンに投影、全体で確認し、ふり返る。</li> </ul>

### 1人1台端末を活用した活動の様子



28円のお金の出し方を考えている場面



いろいろな28円の出し方を共有している場面



類似問題に取り組んでいる場面

### 児童生徒の反応や姿容

どんなお金の出し方があるかという問いに対し、意欲的に取り組み、多様な出し方を考えることができた。タブレット上でお金を何枚も並べる作業に時間がかかったことから、枚数の多い出し方は効率が悪いことに気付いた。また、多様な出し方の中から、便利な出し方があることも気付くことができた。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

具体的な買い物の場面を想定しながら、支払う金額を様々な硬貨を組み合わせる活動で、お金のイラストを用いてタブレット上で何度も操作を行った。いろいろな出し方を考えることを通して、28円を構成する硬貨の組み合わせを多面的にとらえることができた。お金を用いた活動で数の感覚を豊かにするとともに、生活場面に算数が役立つことを感じることもできた。硬貨の組み合わせが様々あることに気付き、実際の買い物の場面でも役立つと考える。